

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

2015年12月14日に不適合管理委員会で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、不適合管理委員会で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 4件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	低電導度廃液系収集ポンプ(B)出口槽攪拌絞り弁のシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
2	1号機	所内蒸気系凝縮水移送ポンプ吐出配管から異音の発生、および当該ポンプ出口圧力調整弁下流側圧力計の指示値に微小な変動を確認した。当該事象の原因を調査し、点検・修理。	
3	6号機	所内変圧器(6B)冷却ファン制御盤(屋外)の盤内に雨水溜まり(約10リットル)を確認した。排水および拭き取り実施済み。雨水浸入箇所を特定し、当該部を点検・修理。	
4	その他	荒浜側放射性廃棄物処理設備制御室において、荒浜側焼却設備制御盤の換気用ファンから異音の発生を確認した。当該ファンを点検・交換。	